



株式会社 柿木花火工業 (長浜市)

エコ花火製造への挑戦

当社では、2002年からエコ花火(花火残滓の減少化)の研究を開始し、2006年に完成させました。なかでも花火玉の玉皮(外皮)に生分解性プラスチックで製造した玉皮を使用したことで注目を浴びました。河川や琵琶湖、雨にさらすことで、4時間程度で泥状に分解してしまう優れたものでした。

ですが、2012年頃、新たな問題点が発見され、使用を取りやめることになりました。材料の一部に非水溶性の樹脂を使用した結果、マイクロプラスチックが残ることが分かったのです。

そこで、**滋賀県中小企業団体中央会「ものづくり支援室」**の紹介で、草津市にあります龍谷大学RECとの共同研究を開始するに至り、産学連携がスタートしました。それから約2年後、水溶性の樹脂を用い強度を調整し、マイクロプラスチックを残すことなく、完全に自然に帰る商品の開発に成功しました。



約24時間後

水を抜いた後の
バイオプラスチック玉皮



3時間後



水に浸す



バイオプラスチック玉皮



株式会社 柿木花火工業

住所: 滋賀県長浜市本庄町388番地 TEL: 0749-62-3503 FAX: 0749-62-3558

HP: <http://eco-hanabi.com/>

業種: エコ花火の製造販売、イベント花火、花火上げの企画演出総合プロデューサー、玩具花火の卸・小売販売

『わくわくと感動を創造する会社』を旨に、新商品モノづくりに取り組んでいます。商品づくりをしていく中で、自然への負荷軽減はかなり前からここ滋賀県では叫ばれています。水環境の手本となる滋賀県の琵琶湖。琵琶湖の水を汚すこと無く湖上花火大会を開催し、人を動かす原動力となるよう努力していきます。



代表取締役
柿木 博幸さん